

令和元年度事業計画

公益社団法人 峡中広域シルバー人材センター 令和元年度事業計画については、平成30年度第4回理事会において平成31年度事業計画として承認されたものである。

はじめに

令和元年度の政府の経済見通しは、同年10月に消費税率の引上げが予定されている中、経済の回復基調が持続するよう当初予算において臨時・特別の措置を講ずるなど、我が国経済は雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環が更に進展する中で、内需を中心とした景気回復が見込まれています。

また、労働・雇用においても、政府の掲げる働き方改革により、女性や高齢者を中心とした労働参加の拡大もあり、雇用者数の増加が見込まれます。

しかしながら、シルバー事業においては平成25年から開始された高齢者の定年制延長・継続雇用により60歳前半層の入会者の減少し、全国的にもシルバー人材センターの登録会員数が減少している実情にあり、事業運営の厳しさが増しています。

このような状況の中、当センターにおいても、「高齢者活用・現役世代サポート事業」に引き続き取り組み、人手不足分野・現役世代を支える分野で高齢者に就業する機会を提供し、「高齢者の生活の安定、生きがいの向上、健康の維持・増進」「企業の人手不足の解消」「地域社会の維持・発展等」を推進し、本年度は新たに、2市1町との協定に基く空家等の適正な管理推進事業及び、各商工会との協定に基く取扱業務の連携による普及啓発等の活動を実施して参ります。

今年度も役職員が力を合わせ、会員の皆様の協力をいただきながら、地域の高齢者また地域社会からより必要な存在となるよう、次のとおり事業の推進に努めて参ります。

1 事業運営体制の充実

事業の発展のため、国、県、構成市町の行政をはじめ、全国シルバー人材センター事業協会・山梨県シルバー人材センター連合会・県内の各シルバー人材センター等関係団体と連携を密にし、事業運営体制の充実を図ります。

- ① 当センターの構成市町である甲斐市、中央市、昭和町の2市1町と連携を密にし、事業運営体制の充実を図ります。

- ② 会員理事連絡会議を中心とし、総務部会、事業部会、地域部会が連携して事業を進めます。
- ③ 女性部を中心に女性会員の増強を図り、センター事業への積極的な協力を行います。
- ④ センター施設整備について、昨年度に引き続き情報の収集を行います。
- ⑤ 研修を通じ、役職員の資質の向上を図ります。
- ⑥ 財政運営基盤の充実を図るため、管理経費の節減を図るとともに、積極的に事業に取り組み事業収益の確保に努め、予定されている消費税の引き上げにも対応してまいります。
また、事務費率についても令和元年度から10%とし、事業運営の充実を図ります。
- ⑦ 平成27年度に策定した中長期計画を引き続き推し進めます。

2 就業機会の開拓・提供事業

多くの会員が就業できるよう多様な就業機会の確保と提供に努めます。

- ① 職群及び職場班を設置し、仕事の受注体制の充実と後継者の育成を図ります。
- ② 未就業会員に対し、積極的に就業機会の提供を行うとともに、就業率の向上を図ります。
- ③ 職業紹介事業を推進し、再就職の支援を行います。
- ④ 家事援助サービス事業及び介護予防・日常生活支援総合事業に取り組みます。
- ⑤ 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施事業所として、業務拡大にも対応し、更にセンター会員の派遣事業を推進します。
- ⑥ 構成市町と締結した空家等の適正な管理の推進に関する協定に基き、巡回サービス等の提供を開始します。

3 技能を取得するための講習事業

会員の技能やマナー向上と新規会員の獲得を目的とした技能講習会を実施します。

- ① 後継者育成及び新規会員獲得のための技能講習を実施します。
- ② 発注者の信頼に応えられるよう、接遇講習会を実施します。
- ③ 家事援助サービス事業及び介護予防・日常生活支援総合事業に取り組みするための実務講習会を実施します。

4 普及啓発事業

シルバー事業の存在意義や現状及び仕組み等を広く周知し、地域社会への浸透を図ります。

- ① 地域班が中心となって、各地区のイベントに出店し、地域住民にセン

ターのPRを積極的に行います。

- ② センター広報「生きいき」を年2回発行し、会員や関係機関へシルバー事業の啓発を行います。
- ③ 市町の広報誌、バナー広告を活用し、受注拡大や会員加入促進を図ります。
- ④ センター独自のホームページを活用し、ネット社会に対応したPR活動を進めます。
- ⑤ 新聞の折り込みチラシなどを活用し、就業開拓、会員募集を行います。
- ⑥ 地域住民と会員の交流を図るためグラウンドゴルフ大会を開催し、普及啓発を図ります。
- ⑦ 商工会と締結した取扱業務の連携に関する協定に基き、事業者及び定年後の従業員等へ、シルバー事業の紹介を行い、会員加入促進を図ります。

5 安全就業推進事業

「安全は全てに優先する」を第一に、一人ひとりが自覚し事故防止に努めます。

- ① 現場リーダーを中心に、危険箇所の確認や安全作業推進のため、作業開始前の朝礼及び作業終了時の終礼の徹底を図ります。
- ② 安全委員会・指導及び就業停止措置検討委員会で事故を起こした会員の詳細な分析検討を行い、必要な措置を講じます。
- ③ 安全巡回を実施し、安全指導及び安全設備用具の使用の徹底に努めます。
- ④ 安全に関する各種講習会を実施します。
- ⑤ 草刈作業会員安全教育実施要領に基づき、刈払機使用による事故防止に努めます。
- ⑥ 危険が伴う作業（車両運転業務及び高所での作業）において、就業機会提供年齢の制限に関する基準の運用を開始します。
- ⑦ 改正した安全就業基準に基づき、安全かつ安心して就業できる体制を促進します。

6 公平・適正就業の推進事業

シルバー事業の基本である、臨時的かつ短期的な就業、または軽易な業務を再確認するとともに、就業時間の業務拡大についても検討を進め、時代に即した公平・適正な就業機会を推進します。

- ① 会員理事を中心に、就業会員の配置について公平・適正化を推進します。
- ② 就業会員配置基準の見直しを行い、公平・適正就業及び地域の実情に即した就業会員の配置の推進を図ります。
- ③ 就業先で苦情等が発生した就業会員に対し指導措置を徹底します。

7 相談・情報提供事業

一人ひとりがセンターの会員であるという自覚と誇りをもった体制づくりを目指し、新入会員の勧誘に努め、組織の拡大と充実を図ります。

- ① 地区担当理事が中心となり、地域班長、連絡員の連携を密にし、会員との情報連絡体制の充実を図ります。
- ② 新入会員入会説明会を毎月2回（第2・第4水曜日）行い、会員の確保に努めます。また、センター以外の会場にも出張して入会希望者の利便を図ります。
- ③ 家事援助サービス事業及び介護予防・日常生活支援総合事業に取り組むため女性会員の登録を推進します。
- ④ 会員が自覚と誇りをもって就業にあたるよう、会員証と会員心得や緊急時の連絡先が記入された名札の携帯の徹底を図ります。

8 社会参加活動事業

ボランティア活動を通じて地域社会への参加を図ります。

- ① 行政とも連携しながら、地区や地域班でボランティア活動を実施します。
- ② 20周年事業で整備した花壇を管理します。